

ボツワナ通信 NO.9

ハボロネマラソン

年に一度のボツワナで行われる国際マラソンであるハボロネマラソンが行われ、約7000人がハボロネ市内を掛け走りました。私自身も人生初のフルマラソンに挑戦し、無事に完走する事ができました。終盤は、足が前に進まなくなり、とても辛かったですが、ゴール地点で選手と同僚コーチ達が待っていてくれて、途中まで一緒に走り何とかゴールしました。3日くらい続いた全身の筋肉痛を代償に最高の達成感を味わうことができました。



ボツワナスポーツ表彰式

スポーツ省が主催する年間の表彰式に招待していただきました。ボツワナ最高級のホテルでの夕食会から始まり、コンサートホールに移動して、式典が始まりました。ジャズの歌手や国内のタレントが会場を盛り上げ、年に一度の記念すべきイベントにふさわしい鮮やかな式典でした。来年は、柔道連盟からもコーチや選手が表彰されることを期待しています。また、最優秀スポーツ選手賞に選ばれた世界陸上女子400mの金メダリストのアメントル・モンショー選手と写真を撮ってもらいました。ボツワナの国民的英雄は、快く写真に応じてくれました。彼女はステージに上がると感極まって涙を流し、優しい女王の一面も見せました。



ボツワナ柔道選手権

ボツワナ柔道界で一番大きな柔道大会が開催されました。この大会は、7月に行われる南アフリカ柔道選手権(近隣諸国が集まる国際大会、小学生から大人までが参加)の予選会でもありました。試合中は、豪快な一本や必死に攻める子供達の成長ぶりを目にし、今後の励みになりました。ボツワナ柔道界の底辺も確実に広がっており、柔道界全体が力を付けていると実感しました。

また、南アフリカからも約30名が参加し、大会前日に柔道教室を私が行いました。終了後、「次回は、南アフリカに招待するから柔道教室を行ってほしい」というような嬉しい言葉も数々いただき、母校に縁ある柔道家とも交流し、大変有意義な時間となりました。



柔道デモンストレーション

柔道のデモンストレーションをオリンピック協会の協力のもと、ボツワナで一番大きなショッピングモールにて行いました。想定内でしたが、オリンピック協会の送迎車が予定時間になっても一向に現れず、1時間半遅れでようやく到着。開始時間も予定より2時間遅れました。

デモンストレーションでは、柔道をしている子供から代表選手が技や乱取り等を見せ、大勢の観客が集まりました。特に女子が大男を投げる、小人が大人を投げる場面では、大きな盛り上がりを見せていました。約1時間のデモンストレーションは、数々のハプニングを乗り越え成功に終わりました。このようなデモンストレーションをきっかけにボツワナにおける柔道の知名度向上に貢献できればと考えています。





強化合宿

イースターホリデー(=イエスキリストの復活を記念して行う復活祭)を利用して、10日間の強化合宿を、首都から約20km離れた場所に位置するモパネという村にて行いました。周りには何も無いロッジに宿泊し、一日中柔道漬けの追い込んだ稽古とトレーニングを行いました。

午前6時からの朝のトレーニング、9時からの柔道の稽古、午後3時からの柔道の稽古という1日3度の練習で疲れが溜まると「教会に行く」と言って休む選手もいましたが、全員が必死になって厳しいメニューをこなしてくれました。

10日間、選手と寝食を共にし、大自然と一緒に走り、激しい稽古をして汗を流し、最終日の夜はアフリカの音楽に合わせて踊って締めくくりました。選手権との絆が一段と深まった合宿でもありました。



総集編第一弾迫る！

来月5月24日に開催されるアフリカユースゲームに向けて、現在、ボツワナスポーツ界は盛り上がりを見せています。我らが柔道チームも同様、私がナショナルチームを指揮するようになってから、この大会を大きな目標に掲げ、今に至るまで海外遠征や国内での強化合宿を重ね、強化に取り組んできました。現在は、今大会に向けて最後の追い込みをしている最中です。大会期間中の5月22日~31日まで、54カ国から約2500人の選手が21競技で熱戦を繰り広げます。日本から私たちボツワナ柔道チームの応援を、どうぞよろしくお願いします。



2014年4月30日 青年海外協力隊 ボツワナ 柔道隊員 井坪圭佑